

### 新人看護師自ら入院生活を体験

～これからも患者さん目線を大事にしたい～

今回の入院体験を通して、患者さんの立場になっているという学ぶことができました。

家とは違う環境、初めて会う人と一緒に過ごすことに不安や緊張がありました。まわりの物音や話し声、足音など普段気にならないことでも気になり、なかなか寝れなかったり途中で目が覚めたりストレスに感じると思いました。その中で、笑顔で優しく話しかけてくれる看護師の存在は緊張がやわらぎ、不安の軽減に繋がると感じました。

入院体験をしたことで患者さんはどう感じるか、どんな思いで入院しているかなどを知り、今までの自分の行動や表情、言葉遣いなど改めて考えることができました。患者さんのストレスや不安に寄り添い、安心して療養できるように努めたいと思います。



3階北病棟 看護師  
みづぶち ひろこ  
溝渕 拡美

看護師としてではなく、患者さんの立場になって入院体験をしました。入院体験を通して、受け持つ患者さん一人ひとりの、身体的・心理・社会的側面について五感を使って考えながら体験しました。

身体的側面では病室や廊下から聞こえる話し声、物音が思っているよりも聞こえ、不安の多い療養生活では音にすごく敏感になること、また心理的側面では病状と向き合いながら慣れない環境で療養生活を過ごしていくため、不安が大きいことを感じました。

そのため患者さんと一番身近に関わっているのは看護師であるため、限られた時間の中で患者さんと一対一で向き合い、不安を取り除くために注意した配慮、声掛けを意識して行い、その日々の積み重ねが信頼度を高め、患者さんの内に秘めた想いを引き出し、不安の軽減に繋がると学びました。今回の学びを、今後活かしていきたいと思えます。



4階南病棟  
やすだくるみ  
安田久瑠美

### 在宅酸素患者さんの 心配やお困りの声を共有

第13回医療・介護連携学習会を開催



画面を通して、交流しました

当院地域連携・患者サポートセンターでは、医療と介護分野のシームレスな連携をめざして、年に2回、地域の医療・介護に携わる方に向けて学習会を開催しています。10月28日(金)に、今年度2回目の学習会をオンラインで行い、テーマを「在宅酸素について」と設定しました。嬉しいこ

とに、約30名の参加がありました。当院慢性呼吸器疾患看護認定看護師の高木看護師より、在宅酸素療法についての基本的知識を中心に話をしてもらいました。在宅現場からは実際に困っている人の相談もあり、実りある学習会になりました。今後さまざまなテーマで学習交流会を企画予定します。(地域連携・患者サポートセンター)

当院では予約制で呼吸器看護外来を行っています。在宅酸素をされている方で、お困りの方はご相談ください。



講師の高木看護師

水島協同病院は差額ベッド料はいただいておりません

日本医療マネジメント学会 第27回岡山県支部学術集会が、10月22日(土)に開催されました。今回のテーマは、「新しい連携のカタチ」地域医療エコシステムの実現に向けて」でした。地域医療エコシステムとは、それぞれの医療機関の持つ資源や機能を共有し、有効にバランスよく機能させるために地域全体で協力して調整を図り、医療・介護をすすめていくというものです。第3部のシンポジウム「救急の地域医療エコシステム実現に向けて」では、当院山本

### 医療連携の次なる段階へ

～当院も地域医療エコシステム  
実現のため、前進していきたい～

院長がシンポジウムとして登壇し、水島地域の救急医療の現状と当院の取り組みについて報告しました。

「いつでも、当院理念の「いつでも、安だれもが、安心してかかれる医療を追求します」のもと、他の医療機関や地域との連携を強化し、さらにすすむ高齢化にそなえていきたいと思えます。(地域連携企画室 西村 真弓)



当院の救急医療について  
知ってもらいました

### 岡山県看護協会企画

「看護の出前講座です」に参加

### 中学生に“いのちの大切さ”感じてもらう

職員2名が玉島東中学校を訪ねました



11月4日(金)、玉島東中学校2年生175名を対象に、「いのちの大切さ」の出前講座講師として、塩尻助産師と私が話してきました。関わってきた妊産婦さんのエピソードの中からいのちと向き合った事例を紹介し、その他看護師の仕事、第二次性徴の体と心の変化、分娩経過、LGBTQ、最後に赤ちゃん抱っこ体験をしてもらい感想を聞いていただきました。

生徒さんは積極的に参加され、和やかな雰囲気の中でくれました。生徒さんから「看護の仕事に興味をもった」「命がけて産んでくれた母に感謝したい」「命は平等」など感想がありました。少しでも生徒さんに伝わり、これから生きていくヒントになればと思っています。(看護部長室 川西 久枝)



大勢の生徒さんを前に話をするのは久しぶりでした